

☑平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報														
☑ 位置付けられている計画等で「その他の計画」が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。														
事務事業名	健康教室・健康相談事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input checked="" type="checkbox"/> 県補 <input type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分		一般会計			款 4 項 1 目 5 事業 2
担当部	保健福祉部	担当課	保健推進課	担当係	健康増進 係	作成者	染谷早苗	内線(電話番号)	23-3111	シート作成日	H30.11.12	部長決裁日	H30.11.15	
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称:健康プランじょうそう・国民健康保険データヘルス計画)				根拠法令及び市条例等		<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:健康増進法・がん対策基本法・食育基本法) <input checked="" type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:第3次健康いばらき21プラン・茨城県がん検診を推進し、がんと向き合うための県民参観条例・茨城県食育推進計画(第三次)) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称:)							

2 事務事業の目的															
☑ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。															
現状課題	・各教室及び講演会とも、定員を上回る申込数である。 ・教室の参加者から、1回の教室の人数が多いため受講しにくいとの意見がある。そのためか教室を途中で欠席してしまう方もいる。				誰・何を対象に	市民		どのような方法・手順で	教室開催数を増加する。 ①アンケートを実施しその結果市民が興味がある②健康増進・維持することができる③医療費の減額及び重症化予防等の健康教室を開催する。				望ましい状態	教室に参加した市民に、健康維持・増進するための知識を習得してもらい、自ら健康で豊かな生活をおくることができるようになる。	

3 事務事業の主たる成果指標														
☑ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	各教室申込数に対する平均参加出席率	単位	%	目標値	100	目標年次	平成 34 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	各教室・講演会の申込数からみる出席率をみることにより、その事業内容を評価するために目標値とした					

4 事務事業の実績 ㊦															
☑ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。															
年度	平成27年度				平成28年度				平成29年度						
	業務名			活動量	業務名			活動量	業務名			活動量			
事務事業を構成する主な業務	① 女性のための健康教室			4回	① 女性のための健康教室			4回	① 女性のための健康教室			4回			
	② 男性の体操教室			2回	② 男性の体操教室			2回	② 男性の体操教室			3回			
	③ 骨粗鬆症予防教室			3回	③ 骨粗鬆症予防教室			3回	③ 骨粗鬆症予防教室			6回			
	④ 健康体操教室			3回	④ 健康体操教室			3回	④ 健康体操教室			3回			
	⑤ きぬ医師会委託健康教室(動脈硬化予防教室)			3回	⑤ きぬ医師会委託健康教室(脂質異常症予防教室)			3回	⑤ きぬ医師会委託健康教室(動脈硬化予防教室)			3回			
	⑥ きぬ医師会委託健康教室(糖尿病予防教室)			3回	⑥ きぬ医師会委託健康教室(脳梗塞予防教室)			3回	⑥ きぬ医師会委託健康教室(脳卒中予防教室)			3回			
	⑦ 骨粗鬆症予防講演会			1回	⑦ 骨粗鬆症予防講演会			1回	⑦ 骨粗鬆症予防講演会			1回			
	⑧ がん予防講演会			1回	⑧ がん予防講演会			1回	⑧ がん予防講演会			1回			
	⑨ 生活習慣病予防講演会			1回	⑨ 生活習慣病予防講演会			1回	⑨ 生活習慣病予防講演会			1回			
	⑩ 各教室に係る業務				⑩ 各教室に係る業務				⑩ 各教室に係る業務						
	⑪ 各教室				⑪				⑪						
	⑫				⑫				⑫						
目標値に対する実績値				76.6 %	目標値に対する実績値				80.9 %	目標値に対する実績値				91.7 %	
決算額	計	533,610 円	内訳	特定財源	360,000 円	計	514,993 円	内訳	特定財源	360,000 円	計	479,042 円	内訳	特定財源	300,000 円
				一般財源	173,610 円				一般財源	154,993 円				一般財源	179,042 円
		(住民一人あたりの行政コスト)			9 円		(住民一人あたりの行政コスト)			8 円		(住民一人あたりの行政コスト)			8 円

5 担当者評価 ㊧													
☑ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果	目標未達成	各教室・講演会とも申込予定人数より参加希望者が多い。アンケートの結果では受講者からも自分の健康について見直すことができよかったとの声があがっている。											
	内容												
問題点	教室の参加人数が多いので、少し減らしてほしいと市民からの意見もある。教室の回数を増やすなど受講しやすい体制にし、一人でも多く健康に関する知識を習得する機会を増やすべきである。また、参加者はリピーターも多いので、新規受講生を開拓すべき取り組みも行いたい。												

6 担当部長及び担当課長評価 ㊨													
☑ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性													
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	健康プランじょうそう第2節の行動目標達成に向け、市民が生活に運動を取り入れ、習慣化できるような運動の周知や、健康に関する知識を習得する機会を提供し、市民の健康維持・増進を推進する。												

7 実施計画 ㊩																
☑ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																
年度	平成30年度				平成31年度				平成32年度							
事業内容	●女性のための健康教室(4回) ●男性のための健康教室(3回) ●骨粗鬆症予防教室 運動3コース・栄養(調理実習1コース3回) ●健康体操教室(3回) 各教室のフォロー事業 ●きぬ医師会委託健康教室(2コース3回) ●骨粗鬆症予防講演会 ●がん予防講演会 ●生活習慣病予防講演会				●女性のための健康教室(4回) ●男性のための健康教室(4回)運動指導士@13000×4回 ●骨粗鬆症予防教室 運動2コース2会場(保健センター2回・福祉センター2回) 栄養調理実習1コース4回(保健センター2回・福祉センター2回) ●健康体操教室(3回) 各教室のフォロー事業 ●きぬ医師会委託健康教室(2コース3回) ●骨粗鬆症予防講演会 ●がん予防講演会 ●生活習慣病予防講演会				●女性のための健康教室(3コース2回合計6回) ●男性のための健康教室(4回)運動指導士@13000×4回 ●骨粗鬆症予防教室 運動2回コース2会場(保健センター2回・福祉センター2回) 栄養調理実習1回コース4回(保健センター2回・福祉センター2回) ●健康体操教室(3回) 各教室のフォロー事業 ●きぬ医師会委託健康教室(2コース3回) ●骨粗鬆症予防講演会 ●がん予防講演会 ●生活習慣病予防講演会 ●習慣化健康教室(12回) 運動指導士@13,000×12回							
	予算額	歳出	計			483 千円	歳出	計			530 千円	歳出	計			697 千円
			特定財源			376 千円		特定財源			376 千円		特定財源			496 千円
		歳入	一般財源			107 千円	歳入	一般財源			154 千円	歳入	一般財源			201 千円
			計			483 千円		計			530 千円		計			697 千円

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成28年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。今後、ますます健康志向は高まっていくと思う。各教室、講演会のPRIについてはホームページや動画で配信するべきである。各教室の参加希望者が多いのであれば回数を増やすことも必要であるが、石下地区、水海道地区と、地域ごとの開催も検討されたい。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊪													
事務事業の方向性													
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由	本事業において、市民が健康運動を取り入れ、健康に関する知識を習得することは、市民の健康維持・増進を図ることができ、しいては医療費の削減にもつながることである。今後もこの事業を推進していくためには、周知方法や事業内容の改善を検討すべきものとする。												

11 事務事業の改善理由 ㊫													
☑ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容	健康維持・増進や知識の習得のための教室を展開している。1回の参加人数が多く、会場も水海道地区でのみ実施していたので、来年度は、骨粗鬆症予防教室の運動と栄養コースを、石下地区でも開催する。 また、男性のための健康教室も年々参加者が増えている。教室の回数を増加し、社会参加デビューの場として、退職後の男性の運動習慣化を図り、早期の介護予防につなげる。												